

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0170502512		
法人名	株式会社 アクティブ・ケア		
事業所名	グループホームみのり菊水元町 とまと館		
所在地	札幌市白石区菊水元町9条1丁目3番1号		
自己評価作成日	平成29年3月12日	評価結果市町村受理日	平成29年3月29日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.hlw.go.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail.2016.022_kan=true&JigyosyoCd=0170502512-00&PrefCd=01&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 サンシャイン
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F
訪問調査日	平成29年3月25日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

職員だけではなく、医療機関、地域の方々、ご家族様などあらゆる立場の協力を得、入居者様を支えることができるよう努めております。又、グループホームでの看取りを経験することで職員の成長に繋がったと思います。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

札幌市中心部から近い住宅地にある2階建て2ユニットのグループホームである。同一法人が運営する有料老人ホームが併設している。河川敷の「桜の杜」や米里公園、バス停やコンビニエンスストアが近くにある。共用空間は明るく清潔で、居室は利用者の生活に合わせた部屋づくりが行われている。利用者が塗り絵やパズル、利用者同士の会話を楽しんでいる。レクリエーションに参加する利用者の割合が多く、食事の後片付けを積極的に行っている方もいる。地域との関係では、町内会館で行われる「ふれあい広場」で地域の方と折り紙や縫い物、生け花を楽しんだり、事業所の交流バーベキューやクリスマス会にも地域住民やボランティアの参加を得ている。運営推進会議は計画的にテーマを設定し、ミニ勉強会も開催しており、地域や家族の参加者も充実している。ケアマネジメントの面では、個人台帳やアセスメントシートの定期的な更新が行われ、記録類も整理されている。災害対策の面では、火災、地震、水害に対応した訓練を行い、マニュアルや備蓄品も整っている。外出の面では、毎月の「ふれあい広場」や隣接施設でのフラワーアレンジメントへの参加の他、日常的な買い物、花見や紅葉狩りなどの年間行事を充実させている。快適な環境のもと利用者が生き生きと過ごしているグループホームである。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)		

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価(とまと館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	毎朝の朝礼で唱和し、意識づけることで理念を共有し実践に繋げる事ができるよう努めております。	理念の中に「地域との交流を大切にする」という文言を加え、地域密着型サービスの意義を踏まえたものとしている。理念を居間やスタッフルームに掲示し、朝の申し送り時に唱和している。職員は理念を十分に理解している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会で開催している「ふれあい広場」やお花見行事などに参加したり、街路の花壇の手入れやゴミ拾いなどにも参加し地域の方々の協力を得ながら毎日をご過して頂いております。	花植えやごみ拾いなどの町内会行事の他、「ふれあい広場」に参加し、地域の方と一緒に折り紙や縫い物、生け花などを楽しんでいる。事業所で行う交流バーベキューやクリスマス会にも地域住民やボランティアの参加を得ている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	年に2回運営推進会議を活用し講習会(移乗介助講習・防災講習)を開催し、ご家族様、地域の方々に参加して頂いております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回の頻度で運営推進会議を開催し地域包括支援センター、地域の方々、ご家族様、入居者様にご参加頂き、日々の報告やご意見を伺う機会をもっております。また、議事録は請求書と共に郵送し報告を行っております。	会議を2ヵ月毎に開催している。地域包括支援センター職員、町内会長、町内会役員、利用者、家族の参加を得て、防災や地域交流、外部評価、介護技術講習などをテーマに話し合っている。議事録を全家族に送付している。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	管理者は札幌市・白石区の管理者会議に出席し情報の共有に努めると共に、区役所の各担当者とも適宜相談ができる関係を維持しております。	運営推進会議に地域包括支援センター職員の参加を得、情報提供を受けている。市や区の管理者連絡会や地域ケア会議でも行政担当者や情報交換をしている。何か相談事があれば随時電話で相談を行っている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	日中は玄関の施錠をせず、自由に入出入りができるようにしております。又、外部研修に参加し知識を得る機会を設けると共に、会議等において身体拘束をしない介護を実践できるよう話し合いを行っております。	身体拘束を行っておらず、禁止の対象となる具体的な行為を示したマニュアルを用意している。11項目の具体的な禁止行為を職員に配布し、理解を促している。また、職員が虐待や身体拘束の外部研修を受けた際は、報告会を行っている。玄関は日中施錠せず、出入りがあればセンサー音で分かるようにしている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	外部研修に参加し虐待防止法について学ぶ機会を持つと共に、日頃より入居者様に対する対応においても入居者様の尊厳を大切にするよう心がけております。		

グループホームみのり菊水元町

自己評価	外部評価	項目	自己評価(とまと館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性に関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	外部研修に参加し制度についての学習をし日々の仕事に活用しております。また、必要とされる方に制度に関する情報提供を行なっております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時は事前に契約書類をお渡しし熟読して頂いてから不安のない様十分に説明を行っております。解約においてもご家族様立会いのもと説明、確認を行い納得して頂ける様心がけております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関にご意見箱を設置すると共に、ご家族様が来訪された際には日頃の様子をお伝えしご意見ご要望を伺えるよう心がけております。頂いたご要望は会議等にて職員間で共有しております。	運営推進会議の場や家族が来訪した際に意見を聞いている。家族との話し合いの内容を「気付き事ファイル」に記録し、職員間で共有している。「みのり通信」や個別の「近況報告書」を毎月家族に送付し、利用者の様子を伝えている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月のユニット会議で活発な意見交換を行い、そこでの意見は管理者が毎月の運営会議で提案しております。	毎月ユニット会議があり、職員間で活発に意見交換している。管理者と職員は年2回の個別面談を行っている。職員は行事や通信作成、物品・消耗品管理などの業務を分担し、運営に参加している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	管理者は年2回人事考課、個人面談を通して職員の努力、実績などを評価し想いを聞き入れ働きやすい環境づくりを心がけております。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	本社研修課企画による新人研修・経過年数による研修・役職者研修など段階に応じて研修を行っております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者は他グループホームとの勉強会、会議等を通じてネットワーク作りをし情報交換、情報共有しサービスの向上に努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価(とまと館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人様との対話を大切にアセスメントを作成し、安心して生活して頂ける様な環境づくりに努めております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様来訪時、電話連絡時に入居者様の状況をお伝えしご家族様が不安に思う点など傾聴し、入居者様だけでなくご家族様も支援できるよう心がけております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居者様が「行なえること」「行なえないこと」を職員間で情報共有しその都度必要とするケア、安全に、安心できる環境づくりを目指し日々努めております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人様が望まれる生活、それまでの役割を尊重し継続できる環境を整えられるよう協力し、入居者様との関係作りに努めております。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	アセスメント作成時などにご家族様にご協力を頂き、対話をする中でご家族様の不安、要望を伺えるよう、また、ホームでの行事に参加、協力頂くことでご本人様とご家族様との絆を深めることができるよう支援しております。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族様、ご友人様など来訪の際はゆっくりと寛げるよう環境作りに努めており、これまで大切にしてきた習慣、信仰なども継続できるよう協力体制を築いております。	2名の利用者に友人が来訪している。ハーモニカのボランティアの方と馴染みの関係になった方や宗教関係の知人と教会に出かける方もいる。職員と一緒にパズル専門店にパズルを買いに行ったり馴染みのレストランに外食に行くこともある。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	日々生活される中で個々の生活スタイルを把握することで職員が入居者様同士の調整役となり支え合えるよう支援しております。		

グループホームみのり菊水元町

自己評価	外部評価	項目	自己評価(とまと館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去された後もご本人様・ご家族様が必要とされる情報を提供し、できる限りの協力を行なえるよう努めております。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の対話を大切に思いや希望を汲み取るよう心がけております。困難な場合であってもできる限りご自身の意向に沿えるよう職員間で相談し支援しております。	7割の方は言葉で思いや希望を表出でき、難しい方場合は表情や質問の反応などから把握している。個人台帳を毎月、センター方式のアセスメントシートを3か月毎に更新し情報を蓄積している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人様・ご家族様を交えてこれまでの生活についてお聞きできる限りこれまでの生活を継続できるよう努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	身体的変化、心情的変化に留意し変化が見られた場合は記録に残し職員間で情報共有を行なっております。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケアプラン更新時にご家族様に現状の状態をお伝えし、要望等を伺った後にスタッフ会議にて実現に向けた話し合いを行なっております。	計画を3か月または6か月で更新しているが、更新時の評価欄の記載はユニットにより違いがある。6か月更新の場合も3か月で評価を行う予定としている。ケース記録に介護目標を印刷し、実施状況の確認と実施内容の記録を行っている。	更新時の評価欄について、サービス項目ごとに評価を記載すること、サービス項目の達成度合いや継続・変更の理由などを分かりやすく記載することを期待したい。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別の記録用紙に日々の様子を記載し、変化が見られた際は申し送りにて職員間で情報共有し都度対応を見直すよう努めております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご家族様、ご本人様の要望に応じ介護タクシーの手配、宗教活動への参加支援、ボランティア等の地域資源を活用しての行事参加など個々のニーズに対応できるよう取り組んでおります。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	避難訓練には地域の方々にも参加して頂き通常より連携を図っております。また、セラピー犬の訪問、ボランティアの方の協力により行事を行なうことで、積極的に地域の方々との交流を図っております。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご家族様の希望があれば往診時に同席して頂きかかりつけ医との関係構築に努めております。急変時にはご本人様ご家族様の意向を重視し、適切な医療が受けられるよう支援し、ご家族様に都度報告をしております。	8割の方が提携医による月2回の往診を受け、訪問看護師による週1回の健康チェックもある。他の通院は家族または事業所で送迎を行っている。受診内容を月間ケース記録に記載し共有している。	

グループホームみのり菊水元町

自己評価	外部評価	項目	自己評価(とまと館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週2回看護師の往診があり、都度入居者様の体調について報告、相談しアドバイスを受けております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入居者様が入院した際は病院関係者と連携し入居者様の早期退院にむけ情報共有を行なっております。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	早い段階からご家族様、ご本人様に終末期の意向を伺うことで主治医、訪問看護師と連携を図り、看取りに関する勉強会を行なうなど準備を行い入居者様に安静・安楽な時間を提供できるよう取り組んでおります。	利用開始時に「重度化・看取りに関する指針」を家族に説明して同意書を得ている。実際に看取り介護を行う場合はさらに「看取り介護に関しての同意書」を取り交わしている。事業所で過去に1名の看取りを経験している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時や事故発生に備え初期対応や救急対応のマニュアルを作成、掲示すると共にスタッフ会議の中で対応講習、事故反省を行い急変時にも慌てず対応できるよう日々心がけております。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	火災・地震・夜間を想定し実施する避難訓練には消防署職員、地域の方にも参加して頂き訓練後は更に安全に避難できるよう反省会を行なっております。	年2回、昼夜を想定した避難訓練を行い、うち1回は消防や地域住民の参加を得ている。職員の救急救命訓練の受講を計画的に行い、災害時に必要な備蓄品も用意している。防災マニュアルに沿って地震や水害への対応を話し合っている。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	お名前は「さん」付けを徹底しており、入居者様の尊厳やプライバシーに配慮した声かけ、対応を行なえるよう取り組んでおります。	職員は、新人研修や入社年数に応じた法人研修で接遇マナーを学んでいる。不適切な対応や声かけがあればその都度指導し、申し送りも部屋番号で行っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者様個々に合わせ興味を持てることを引き出し、行なうことができるような声掛け、物品の準備などに工夫を行なっております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの体調、気持ちの変化を見逃さず、その時その時の状況に応じ個別の対応ができるよう職員間で連携を図り支援しております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	訪問理美容を活用し入居者様の個性を大切に髪型を整えられるよう支援しております。また、ご家族様が用意頂いた洋服を毎日一緒に選んで頂ける様支援しております。		

グループホームみのり菊水元町

自己評価	外部評価	項目	自己評価(とまと館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	職員も可能な限り一緒に食事をして食事中の会話を楽しむなど雰囲気作りを心がけております。また、簡単な調理や後片付けなど入居者様に手伝っていただいております。	献立は関連会社の栄養士が作成し、行事食は、季節毎に数種類の献立から選ぶことができます。誕生日に回転寿司に出かけたり、畑で収穫したじゃがいもで利用者と一緒にいも餅を作ることもある。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の嚥下機能やその日の体調に合わせて食事形態や食事を調整し提供し、可能な限りご自分で食事ができるよう支援しております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	月2回の歯科医による往診と合わせ、毎食後口腔ケアの声掛け、見守り、状況に応じた介助を行い口腔内の清潔保持に努めております。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	ケース記録に排泄時間を記録し、状況に応じた声掛けに配慮しトイレ誘導を行い排泄の失敗を防ぐことができるよう支援しております。	日中は全員トイレでの排泄を支援し、声かけが必要な数名は夜間のみパッド交換などで対応している。パッド交換など、自分でできる行為を行ってもらいながら自立に向けて取り組んでいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	主治医指示のもと下剤調整、水分調整、状況に応じた腹部マッサージなどを行い排便コントロールが整えられるよう支援しております。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入居者様の体調、衛生面に配慮しお一人ひとりの希望やタイミングに合わせて個別の入浴支援に努めております。	毎日、午後の時間帯で週2~3回入浴を支援している。浴槽のお湯を利用者ごとに交換して好きな入浴剤などを選んでもらったり、好みの湯温を聞きながら入浴が楽しめるように工夫している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	寛げる空間や十分な睡眠がとれるような環境作りに取り組む安心と安全を入居者様に提供できるように心がけております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤師と連携を図り薬剤の管理を行い、職員は服薬内容の把握、確認を重ね誤薬防止に努めております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居者様のこれまでの生活環境などを考えお一人お一人にあわせた過ごし方ができるように個別ケアを重視し支援しております。		

グループホームみのり菊水元町

自己評価	外部評価	項目	自己評価(とまと館)		外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	個別に近隣の公園を散歩したり、季節に合わせお花見や紅葉狩り等車でのドライブを楽しんで頂けるよう工夫しております。また、地域のお祭りにも参加し交流を図っております。	普段は、公園や桜の杜を散歩したり個別の買い物に出かけている。よさこい見学や上白石神社祭りに出かけたり、紅葉狩りで川下公園に外出している。冬季も初詣やどんど焼き、雪まつり見学に出かけるなど、年間を通して外出する機会が多い。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	隣接する有料老人ホームで開催される移動販売にでかけお好みの買い物を楽しむことができるよう支援しております。			
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	事務所の電話は自由に使用できるよう設置しており、状況に応じ電話の取次ぎや手紙の投函を代行し関係が継続できるよう支援しております。			
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有スペースには季節を感じられるような装飾をし、前庭には時期ごとに咲く花を植え居心地の良い安心できる空間作りを努めております。	居間や食堂は、大きな窓に面した明るい造りになっている。ユニット名にちなんで、居間のカーテンや浴槽の色、手摺りなどの配色を変えている。浴室の前に椅子を設置して、入浴後にゆっくり休めるように工夫している。2階のユニット玄関先にはソファがあり、日光浴をしながら過ごせるようになっている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファを設置し入居者様同士の交流や独りでも静かに過ごす事ができるようそれぞれにあった居場所で過ごす事ができるよう配慮しております。			
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご家族様の協力の下、使い慣れた家具や思い出のある写真等を居室に飾りご本人様が安心して過ごすことができるよう配慮しております。	入り口に表札や好きな小物を飾り、自室が分かりやすいようにしている。フラワーアレンジメントのしめ飾りやふれあい広場で作った作品などが壁に飾られている。使い慣れた机や椅子、本などを持ち込んで落ち着いて過ごせる環境が整えられている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	入居者様の混乱が無いよう目印や案内板を設置しお一人お一人に応じた対応で自立した生活が送れるよう支援しております。			

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0170502512		
法人名	株式会社 アクティブ・ケア		
事業所名	グループホームみのり菊水元町 めろん館		
所在地	札幌市白石区菊水元町9条1丁目3番1号		
自己評価作成日	平成29年3月12日	評価結果市町村受理日	平成29年3月29日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

職員だけではなく、医療機関、地域の方々、ご家族様などあらゆる立場のの協力を得、入居者様を支えることができるよう努めております。又、グループホームでの看取りを経験することで職員の成長に繋がったと思います。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action_kouhyou_detail_2016_022_kani=true&JigyosyoCd=0170502512-00&PrefCd=01&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 サンシャイン
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F
訪問調査日	平成29年3月25日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価(めろん館)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	ホーム理念をスタッフルームに掲示し、面談時には内容確認を行い、実践できるよう努めております。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	毎年地域交流バーベキューや行事には町内の方にご参加いただいたり、ボランティアとして余興をお願いしております。町内会のふれあい広場や町内会主催の行事にも参加させて頂いております。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	町内会の行事等で、町内の方々と交流を図り、運営推進会議では、ご家族様や地域の方に参加頂き、定期的に講演会等の企画を実施しております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議で、ホームでの行事報告や外部評価結果の報告、現状の説明を行い町内会や、ご家族様のご意見等を取り入れ、サービスの向上に努めております。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	札幌市や白石区の連絡会や研修会に参加し情報交換を行い、区の担当者と連絡をとる際は意見や情報をより多く取得できるように取り組んでいます。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	社内に身体拘束委員会を設置し、マニュアルを作成、すぐに参照できるようスタッフルームに置き、各スタッフが理解し虐待防止に向けて取り組んでいます。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	外部研修に参加し、意識の共有を図り入居者様への対応に関するカンファレンスを毎月開催しております。		

グループホームみのり菊水元町

自己評価	外部評価	項目	自己評価(めろん館)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護に関する研修会に定期的に参加し制度の理解活用に努めております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	ご見学、契約時や解約時には、話し合いをしご家族様に不安、疑問点が残らないよう努力しております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族様の来訪時に、ご報告やご相談等させて頂き、ご意見や要望などをお聞きしております。定期的な会議等や「ご意見箱」でもご意見などを頂き、運営に反映できるよう努めております。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月のユニット会議を通じて意見や提案、要望を出し合い、年2回の個人面談でも意見や要望を聞き、運営に反映させております。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	管理者は年2回個人面談の場をもち、向上心を持って働けるよう職場環境の整備に努めております。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	定期的に社内研修を行い、積極的に社外研修に参加できる機会を設け、スキルアップできるよう支援しております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	外部研修や同業者同士での交流の場を持ち、ネットワーク作りに努め、サービスや質の向上に役立てております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価(めろん館)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	担当スタッフが中心となり、積極的にコミュニケーションを図りながら信頼関係を築き、ご本人様の安心の確保に努めております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様との事前面談にて不安や要望をお聞きし、解決に向けて話し合いを重ねていきながら、関係づくりに努めております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人様とご家族様の考えや要望をお聞きし必要とするサービスを見極め、対応に努めております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	個人個人の習慣を大切にし、その方に応じたお手伝いをして頂き、支援を行い、家庭的な関係作りに努めております。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様に受診の付き添いや、行事等に参加して頂き絆を深め、共にご本人様の生活を支えていく関係作りに努めております。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族様、ご友人との面会、電話連絡等で仲介し、今まで通りの関係を保てるよう努めております。またご家族のご協力により付き添いの外出や病院等の受診の支援を行っております。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	カラオケ、風船バレー等のレクリエーションや、お花見、雪まつり等の外出を行い、入居者様同士が時間を共有出来るよう支援しております。		

グループホームみのり菊水元町

自己評価	外部評価	項目	自己評価(めろん館)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後も葉書などを郵送し、ご家族様がご相談等いただける様に関係を大切にしております。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居者様との毎日の関わりの中から思いを傾聴し、支援できるよう努めております。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族様に入居前から情報を頂き、ご家族様の写真や、馴染みの家具をお持ち頂き、以前と生活環境が大きく変わらない様に支援しております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	申し送り、ケース記録、気付き事ファイル、連絡ノートで入居者様の毎日の状態を確認し、情報を共有しております。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	センター方式を元にアセスメントを立てケアプランを作成しております。毎月のユニット会議でカンファレンスを行い、状態に応じて主治医、看護師、ご家族様と話し合い対応しております。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日、日勤、夜勤とケース記録に情報を記載し、スタッフ間で情報を共有してサービスの向上が出来るよう介護計画の見直しを行っております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご家族様と連絡を取りながら、主治医の往診、病院受診、鍼灸師等個人のニーズに対応したサービスが出来るよう、努めております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	町内会主催のふれあい広場で、入居者様に参加して頂き楽しんで頂いております。また町内会の皆様に運営推進会議に参加して頂き、情報交換を行うと共に交流を深めております。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	内科、歯科共に月2回の往診と週2回の訪問看護師の往診があり、入居前からのかかりつけ医がある方はご家族様の協力を得ながら支援しております。内科主治医は24時間相談可能になっております。		

グループホームみのり菊水元町

自己評価	外部評価	項目	自己評価(めろん館)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日々の体調を訪問看護申し送り表に記入し、週2回の看護師往診日に指示を頂き、入居者様の健康管理を行っております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	主治医との連携を図り、緊急時には医療機関へ受診出来る体制が出来ております。入居者様が入院された場合は、医療機関やご家族様と情報交換を行い、早期退院出来るよう支援しております。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居の際に重度化した場合や看取りについて、ご本人様、ご家族様に十分に説明を行い、方針を共有し医療機関とも連携を取りながら、チームで支援に取り組んでおります。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時は24時間主治医の指示を仰げる体制を整えており、職員は定期的に救命講習を受講し対応について学んでおります。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に2回、日中と夜間想定避難訓練を実施しております。町内会の方々にも協力して頂き、緊急連絡網を作成し体制を整えております。非常時持ち出し袋も常備しております。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	自尊心に配慮した対応や、プライバシーを損ねない言葉かけを心掛けております。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々の生活の中で気兼ねせず、思いや希望を伝えて頂ける様な関係作りを心掛けております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者様のお話に耳を傾け、その時の体調や気分にあった生活ができる様に支援し、環境づくりを行っています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	起床時に洗面や整髪の手助けを行い、定期的に訪問理容で身だしなみを整えて頂いております。ご本人様と一緒に衣類購入にも出かけております。		

グループホームみのり菊水元町

自己評価	外部評価	項目	自己評価(めろん館)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	その時期に合わせた食材を行事食として定期的に提供、夏場は屋外でのバーベキューの実施も行ってあります。また配膳の準備や後片付けも入居者様と一緒に出来るよう支援しております。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分量を記録に残し、入居者様に応じて、刻みやトロミ付けを行い安全に食事が出来るように努めています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアの声掛けや入居者様によっては介助を行っております。月2回の訪問歯科と連携を図り、入居者様の口腔状態の保護に努めています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄状況を職員で共有し、排泄リズムに合わせてお手洗いの声掛けや支援を行っております。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事時に咀嚼を促す声掛けや、足上げ運動を行うなど既存の力で排泄に繋がるように働きかけを行っております。また医療機関に相談し必要に応じて下剤を調節しています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	ご本人のご希望を出来る限り伺い、入浴の時間や順番を決めております。また、入浴剤等を利用し楽しめる環境づくりに努めています。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	入居者様お一人お一人に合わせて安心して休息出来る環境づくりや、ベットメイクを行っております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	朝・昼・夕と職員同士で日付・名前などを確認してから入居者様にも確認を行ない服薬して頂き、薬の空き袋を確認してから破棄しております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	その日の体調に合わせて、食器拭きや掃除、お買い物、生花など出来る事を職員と一緒にしております。		

グループホームみのり菊水元町

自己評価	外部評価	項目	自己評価(めろん館)		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	季節に合わせ、入居者様全員でお花見や、紅葉狩り、雪まつりに行ったりなど外出レクを支援しております。個別に入居者様の希望にそって外出もしております。			
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	移動販売時や外出先でのお会計時に、入居者様に合わせた支援を行いお支払いいただいております。			
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族様と連絡を希望される場合、円滑に電話を使用できるよう支援しております。手紙など投函される時は住所等間違っていないか確認など行っております。			
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に合わせた装飾を行い、毎日、居間や廊下、居間など入居者様が不快にならないよう掃除を行い、温度・湿度調整をし、より良い環境作りに心がけております。			
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居間には食事席以外にソファやテーブルを設置し、独りで新聞を読まれたり、他者様と会話を楽しまれたり、その時に合わせて過ごして頂ける様に配慮しております。			
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者様が昔から使っていた物や好みの物、慣れ親しんだ家具を居室に置き、居心地の良い空間が作れるよう工夫しております。			
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	個々に合わせて、食器拭きやお膳拭きなど安全面に配慮し、混乱や失敗が無いように支援行っております。			

目標達成計画

事業所名 グループホームみのり菊水元町

作成日：平成 29年 3月 28日

市町村受理日：平成 29年 3月 29日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	介護サービス計画書の評価表について、サービス項目毎の評価ではない為、分かりにくい。その為、サービス項目毎の達成度合いや継続や変更の理由も分かりにくい。	サービス項目の評価をより分かりやすく記載する。	サービス項目毎の評価を行い、達成度合いや継続・変更の理由など分かりやすく記載する。	6ヶ月
2					
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。